

2016年度 岡崎教区 聖教学習会

「ただ念仏して弥陀にたすけられまいらすべし」のお言葉は親鸞聖人において、天地がひっくりかえるほどの驚きであり、わが身が救われていくことを実感し、この道を生きていくと選ばれたのだらうと思われまます。

しかしながら法難により流罪となり、法然上人や吉水の仲間たちと離れ離れになり、誰にも聞くことができない中で、ひとり「ただ念仏」の教えを何度も何度も繰り返して聞法思惟していただたのではないかと想像いたします。この生活姿勢こそが私たち真宗門徒が大切にしてきた“聞く”という生き方の原点ではないでしょうか。

この度の聖教学習会では、「聞思」ということを大切にしながら、宗祖の歩みと自分自身の歩みの問い返しを行い、自己を問う（日々の暮らしの中に生まれる「迷い」や「不安」や「不満」。それらを抱える私たちの中心となっているものはなんですか）という視点を持ち、今を生きる私たちが「南無阿弥陀仏」とお念仏申すことが自分自身の生活にどう関わってくるのかを、親鸞聖人のご生涯とお聖教をとおして学んでいきたいと思ひます。

生活の中心に南無阿弥陀仏を

～南無阿弥陀仏と生活の関わりってなんだろう？～

開催にあたり

教区教化テーマについて、お聖教をとおして一人ひとりが受け止めるを深めていく学習会を連続講座として開催すべく、昨年度に引き続き「生活の中心に南無阿弥陀仏を～南無阿弥陀仏と生活の関わりって何だろう？～」をテーマに、全5回の一日研修を開催いたします。

日 時	第1回	2016年10月3日(月)	14:00～17:30
	第2回	11月7日(月)	14:00～17:30
	第3回	12月5日(月)	14:00～17:30
	第4回	2017年1月23日(月)	14:00～17:30
	第5回	2月20日(月)	14:00～17:30

会 場 岡崎教区会館（〒444-0031 愛知県岡崎市梅園町1-1-2）

講 師 安富 信哉 氏（教学研究所長）

1944年新潟県生まれ。早稲田大学第一文学部英文学専修卒業後、大谷大学大学院博士課程真宗学専攻単位取得退学。現在、大谷大学名誉教授。博士(文学)。新潟県光濟寺住職。東方佛教徒教会(EBS)事務局長。真宗大谷派董理院董理。真宗大谷派講師。

内 容 教行信証「総序」

研修形態 講義・攻究・座談

持 ち 物 真宗聖典、間衣、輪袈裟、略念珠、筆記用具
※講義中は、間衣・輪袈裟の着用をお願いいたします。

参加対象 有教師

参加費 3,000円（全5回通し）
※事前のお申込みは必要ありません。当日受付で参加費を納入下さい。

問い合わせ 岡崎教務所（担当：野々山・杉山・佐々木）
TEL:0564-22-2136 / FAX:0564-22-6472
E-mail:okazaki@higashihonganji.or.jp

